

携帯電話

タッチバイブレーション

■ 概要

今の携帯電話は便利だが、高齢者にとって使いにくいものとなっている。→高齢者にも使いやすい携帯電話を設計した。

■ 要望

高齢者にとって簡単な使い方にしたい。

↓
ボタンが小さい

↓
ボタンを無くしタッチパネルに

↓
画面にタッチするたびに本体が振動する

タッチバイブレーション機能

○ 振動数

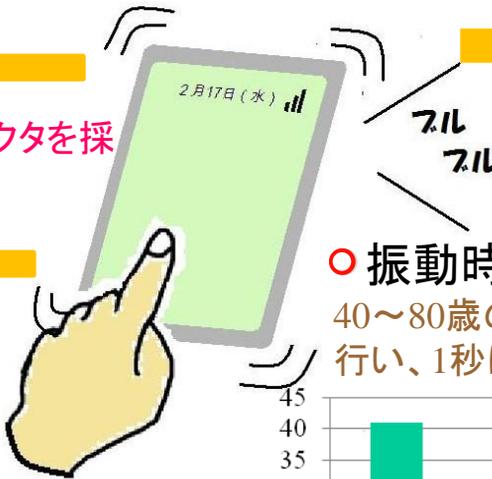
1/fゆらぎが生命に快感を与え、リラックス効果を高める。
1/fゆらぎに含まれる鳥の声に注目し、周波数の安定しているウグイスの鳴き声(1000~1500Hz)を振動数とする。

○ 応答速度

振動のキレがよいフォースリアクタを採用し、短振動に設定した。

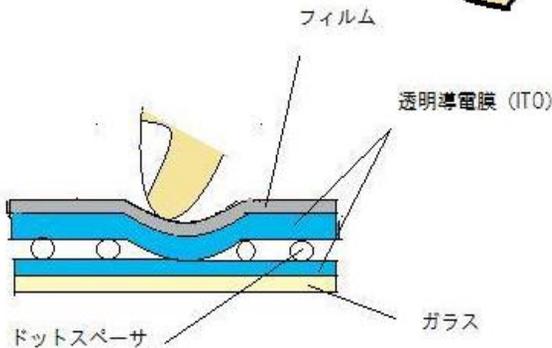
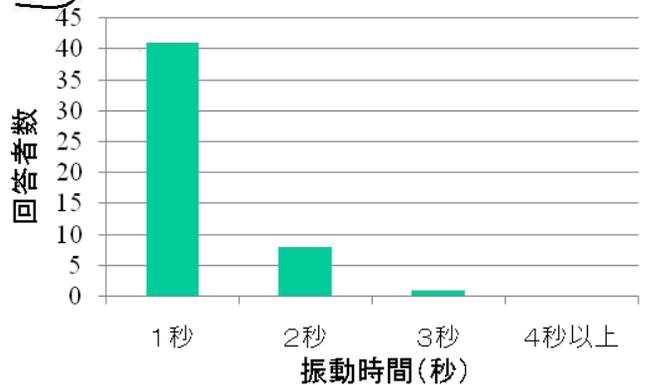
○ 指の感知

抵抗膜方式を採用。
携帯電話などに多く使用され、安価で指とタッチペンに反応する。



○ 振動時間

40~80歳の50人にアンケート調査を行い、1秒に決定。



- (1)特許庁 <http://www.jpo.go.jp/indexj.htm>
(2)株)データメート <http://www.datamate-j.com/index.html>

● まとめ

心地よい振動数、振動時間で反応を速く確認することができる。また抵抗膜方式を採用することで安価にできた。

金沢工業大学
2009年度 プロジェクトデザインII
プロジェクトテーマ : 高齢者用携帯電話の設計
クラス番号 : EE404
チーム番号 : 1
チーム名 : 野人
チームメンバー名 : 泉 久範 大橋 卓巳
作井 淳史 伊藤 健太 小坂 浩一
担当教員名 : 古川 哲郎先生